

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年5月11日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690102308
法人名	有限会社 コンフィアンス
事業所名	グループホーム 草牟田
所在地	鹿児島県鹿児島市草牟田二丁目9番30号 (電話) 099-210-7734
自己評価作成日	令和3年3月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年4月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

高齢者が住み慣れた地域での生活を継続するために、身近な生活圏域として立地しております。
令和2年4月1日にオープンし、その方らしく、その方が持つ残存能力を活かした支援に取り組んでおります。
ご利用者の既往疾患や趣味、興味のあることを職員の共通理解として、ご利用者様全員への声かけと共に声を発する機会が増えるように支援しております。
運動療法・音楽療法・回想療法を取り入れ、ご利用者の意欲を引き出し、離床を心がけた支援を実施しております。
今後もご利用者様やご家族様の意向を取り入れながら、笑顔で過ごせる生活がナチュラルキラー細胞が増え、身体機能維持実現に向かうとの信念で支援させていただきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、鹿児島市郊外の国道に近い交通の便に恵まれた場所に新設されている。1階に多目的室があり家族や利用者の合同イベント等に利用予定である。認知症カフェの準備中で、今後は地域を含めた交流スペースとしても活用予定である。
- ・新型コロナウイルス感染症予防対策のために、感染症の認定看護師による事業所全体の指導を受けており、指導に沿って換気や食堂のテーブル配置・消毒等の見直しを行い、感染症予防に事業所全体で取り組んでいる。
- ・管理者・職員は利用者の孫の結婚式への参加希望を、写真撮影という形で叶える等、利用者の思いに沿った対応に努めている。
- ・管理者は各ユニットの独自性を活かし、「気付きシート」を活用して職員の意見を反映し、職員のやる気を図っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの役割を考えながら、全体研修で理念を共有し、理念に基づいたケアを実践していけるように努めている。	開設に当たって管理者・職員で地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し、玄関・リビングに掲示し、重要事項説明書に記載している。全体研修時に確認・共有して実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍のなか他者との交流は実施できない状況であるが、町内会に加入し、民生委員とは情報の共有に努めている(紙おむつ申請時等)。今後は地域の方達との交流にも努めていきたい。	町内会に加入しているが、コロナ感染防止の為、地域との交流は困難な状況である。学校の実習生を受け入れ細心の注意と準備をして行った。散歩時の声掛けや挨拶などの交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ禍であるが、電話や来訪にて相談を受けた際には、認知症の中核症状や周辺症状等の説明を行う等し、地域の事業所としての役割に務めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ感染予防のため実施できなかったが、コロナが治まってきた折には会議での意見を取り入れ、サービス向上に取り組んでいきたい。	会議はコロナ感染防止の為、1回だけ開催し、事業所のヒヤリハットを含めた状況報告と意見交換を実施した。今後資料送付による状況報告等を行い、電話や返信用の手紙等で意見・要望の報告を受けるように計画している。委員から転倒予防ストレッチの要望があり、サービス向上に活かすようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	分からないことや疑問点は、必ず市に相談し、指導や助言をいただきながらサービスを行っている。	市に出向き、困難事例報告や相談・利用者の暮らしぶり・ケアの様子を伝えている。生活保護担当者とも同様に連携を図っている。オンライン研修に参加したり、地域包括支援センターの職員とも密に連絡を取り合っており、協力関係が築けるよう努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	外部研修や内部研修にて、「身体拘束」への理解や実践に努めている。また、当事業所においては、「身体拘束全面禁止」を掲げており、拘束のないケアの工夫を行っている。	指針を基に身体拘束廃止委員会を3ヶ月毎に、研修会を年1回実施している。事業所では身体拘束全面禁止を掲げており、日頃から、身体拘束をしないケアの工夫を話し合ったり、スピーチロックについても取り組みをしている。見守りの重要性を全職員が理解し、利用者の自由な暮らしを支えている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修等で定期的に勉強会を行い、ケアの振り返りを行っている。また、虐待が見過ごされることのないように、職員全員で注意を払っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	入職時に研修を行っている。管理者、ケアマネージャーは、主治医や入居前に関わった相談員等と、成年後見制度の活用の必要性についての話し合いを行う等している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約締結や解約時には十分な時間を取り、事業目的や重要事項説明等の説明を丁寧に実施し、ご理解いただいている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご利用者様へはモニタリング実施時等に意見や要望等聞き、管理者や職員と話し合い改善に努めている。ご家族には状況報告時に意見や要望等の把握に努め、運営に反映させている。</p>	<p>利用者からはおやつ時や夜間・入浴中の会話の中で意見や要望を聞いている。「トイレトペーパーが取りにくい」との声があり、ペーパーホルダーの位置を移動した。家族からの要望は来訪時や電話等で聞き、出された要望にはその都度対応している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>「気付きシート」を活用し、フロア会議等で反映させている。また、随時、職員の意見や提案等を聞き、運営に反映させている。</p>	<p>毎月フロア会議・全体会で職員の意見等を聞く機会を設けている。気付きシートにより、提案を反映させ、職員駐車場を隣接地に変更した。個別相談は管理者が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は職員の勤務状況や労働時間等の報告を受け、各自が意欲向上に向かえるような職場環境の整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修計画を立て、定期的に勉強会を行っている。また、職員の経験や役割に応じて、外部研修参加の機会を設けている。外部研修に参加した職員は、全体研修にて報告を行い、職員間での研修内容の共有に務めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>コロナ禍のなか、地域の事業者間の交流会やGH連絡協議会等は開催がなかったが、電話等での情報交換を行う等し、サービスの質向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用について相談があった場合は、事前面談として本人にお会いして、生活状態、心身の状況、本人の思い等に向きあい、受け止めることができるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初めてサービスの利用相談に来られた際は、最初から利用の相談を進めていくのではなく、ご家族とのコミュニケーションを大切にし、ご家族の困っていることや不安な事、今までのサービス状況等をゆっくり聞くように努め、その上で相談に繋げている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人やご家族の思いや状況等を確認し、ゆっくりと話を聞いた上で必要なサービスを提供できるよう努めている。必要があれば、他事業所とも連携を取れるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	残存能力を活かした支援を心がけ、お盆拭きや洗濯物たたみ等一緒に家事を行えるように声掛けを行っている。また、レクリエーションを得意とする方には、職員と一緒に計画を立て、レクリエーションを引っ張っていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	状態報告を密に行い、ご家族との情報交換を行いながら信頼関係を築いている。コロナ禍での面会や外出は思うようにいかない所ではあるが、窓ガラス越しの面会や電話での会話を支援し、ご家族との関りが薄れることのないよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在はコロナ感染予防で外出ができる状況下ではないが、今後は状況に応じて、行事に応じた外出も計画していく方針である。また、手紙や電話等いつでも連絡が取れるように支援を行っている。	面会は家族のみとし、窓越し面会や短時間面会を取り入れながら関係が途切れないよう心掛けている。電話・手紙での交流を支援している。孫の結婚式参加を望んでいた利用者に写真撮影等で精神的やすらぎの支援ができた。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションでは自己紹介を交え、職員がその方の良さとなる材料で皆が関心を寄せる会話を心がけている。必要時には、席替え等も行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時は次の事業所にも情報提供し、ご本人やご家族の意向等も伝えている。又、サービス終了後も相談や支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の心身の機能状況を把握し、本人様の意向を聞き取るようにしている。また、意向は職員間で共有できるように取り組んでいる。また、フロア会議等で情報交換している。	日々のかかわりの中で表情やしぐさ・会話などから希望や意向を推し測ったり、家族の面会時や気づきシート等から思いを把握している。意志疎通が困難な場合、職員間で情報を出し合い複数の記録簿も参考に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始の際、情報提供書による把握やご家族、関係者からの生活歴の聞き取り等により、これまでの暮らしの把握に努めている。また、回想療法時や入浴時間等にその方の生活を振り返っていただく等している。興味のあることや特技等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居前の情報を関係者から詳しく聞き取り、入居後は心身状態の変化を見逃さず、現状を総合的に把握するよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	フロア会議や担当者会議にて意見を出し合い、検討している。また、主治医や訪問リハビリの先生からもその都度アドバイスをいただいている。それぞれの意見は、介護計画に反映させている。	本人や家族の希望及び主治医・関係者の意見を反映させて、介護計画を作成している。フロア会議や担当者会議で、モニタリングを3ヶ月毎に実施し、6ヶ月毎に計画を見直している。状況変化時にも現状に即した計画に見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の記録を確認しながらプランの見直しも検討している。また、職員の見解も聞くようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人やご家族の要望に応じて、通院や外出、買い物等の支援を行うなどし、個々の利用者様のその時々に必要な支援に柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>コロナ禍の中、地域資源の活用は難しい1年であった。終息した際は、地域資源を活用した交流や協働を行いたい。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前のかかりつけ医を確認し、ホームの協力医や訪問診療を行う病院の説明を行った上で、納得のいくかかりつけ医の選択ができるよう支援を行っている。医療機関とは、24時間体制で相談・報告を密に行い、信頼関係を築いている。</p>	<p>契約時にかかりつけ医を確認し、訪問診療や家族対応の受診でかかりつけ医の継続を支援している。協力医療機関との24時間医療連携や主治医による月2回の往診、併設看護師による週1回の健康チェック訪問や体調不良の訴えにも対処している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>週1回の看護職員との医療連携においては、情報共有を行いながら、利用者様の体調不良時に適切に対応できるよう努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院となられた際は、医療連携室や看護師、医師と連携を取りながら、早期退院と適切な治療が受けられるように努めている。</p> <p>退院後もホームの生活に必要な支援等を確認・相談を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期については入居契約時に事業所の方針を説明し、重度化した場合や終末期についてのご本人、ご家族の意向を伺っている。また、地域の医療関係者とも連携をとりながら支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について指針で説明し、同意書を得られている。状況変化時に家族の意向を再確認して、意向に沿った支援に取り組んでいる。看取り介護については、医師・訪問看護・家族等の協力体制等を考慮して判断することになっている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故発生時には誰でも対応できるように処置方法を掲示し、全体研修等でも実践につながるように勉強会を実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>職員研修にて災害対策の研修を行っている。また、消防署の協力の元、総合訓練を実施し災害対策への対応を全職員が身に着けられるよう務めている。地域との協力については、今年度はコロナ禍で実施できていないが、今後は地域の中で事業所が協力を得られるように日常の交流を大切に組み込んでいきたい。</p>	<p>年2回昼間想定で、消防署の指導を受け避難誘導訓練を職員と利用者で実施している。防火管理責任者を中心に災害時の対策について研修を実施し職員の理解と経験を積んでいる。今後、運営推進会議等の機会に地域住民の協力を要請する予定である。非常用の備蓄は、米や水・レトルト食品・おやつ等を準備している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の生活歴や人格を尊重し、声かけや守秘義務がある事等を常に意識し対応している。また、内部研修にて、プライバシー保護についての研修を行い、職員の意識向上に取り組んでいる。	研修を実施し、丁寧な言葉遣いで接するようにしている。入浴の同性介助や排泄介助時のさりげない声かけ等、羞恥心への配慮をしている。申し送りは事務室で行い、プライバシーの確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でそれぞれのご利用者様の思いや、して欲しい事・したい事等を話しやすい雰囲気作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、個々の性格やペースの違いに配慮し、できる限り個別性のある支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	個々の状態に応じて、その人らしい身だしなみができるよう支援を行っている。また、ご家族の協力の元、化粧品の依頼や購入も行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	リクエストにこたえたメニューも取り入れながら、お誕生日会や行事メニュー等の楽しめる食事の提供に努めている。また、お盆やテーブル拭き等の率先したお手伝いもいただいている。	利用者の希望も取り入れた献立を刻み食等、個々に応じた食事形態で提供している。利用者もテーブル拭きや盛りつけを一緒にしている。誕生日会の特別メニューやケーキ・行事食等を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量、水分量の記録を徹底している。身体状況に応じて栄養補助食品や経口補水液の提供を行い、栄養バランスの確保に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声掛けを行い、状態に応じて介助を行っている。入居時と年1回は、協力歯科に歯科検診を依頼し、必要に応じて相談や助言をいただいている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄機能を活かし、利用者様の状態に応じた排泄の支援を行っている。また、可能な限りトイレでの排泄を支援し、夜間のトイレ介助やおムツの種類の変更も行っている。	排泄パターンを把握し、動作や表情など、小さな情報も共有して日中はトイレでの排泄を基本に支援している。一人ひとりの状態に合わせて、布パンツの使用やパットの種類等を検討している。夜間は、身体状況によりオムツやポータブルトイレを使う利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録を確認し、便秘の方には水分補給や運動療法、又、腸の蠕動運動を促すように廊下を歩く等の声掛けをしている。必要に応じて、主治医に相談を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>週3回の入浴を設定し、入浴拒否のあるご利用者様へは都度声掛けに工夫を凝らしている。又、無理強いすることなく、入浴は気分転換や爽快感になると認識してもらえるように努めている。</p>	<p>週3回午前中を基本に入浴を楽しんでいる。2人介助や希望で同性介助にも対応している。汚染時は、陰洗やシャワー浴を実施し、清潔で気持ち良く過ごせるように努めている。嫌がる場合は無理強いせず、声掛け等の工夫で対応している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>日中の活動を促し生活リズムを整える為、午前中は全員でフロアで談笑し、昼食後の休憩は居室でプライベートタイムを楽しんでいただいている。また、その日の体調に応じて、個別に配慮を行っている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬説明書をもとに、各利用者様の服薬の内容を確認、理解に努めている。また、服薬の変更や臨時薬が処方された時は、症状の変化の確認に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>コロナ禍の中、外出行事は出来なかったが、秋祭りやクリスマス会等を2階・3階合同で実施したり、季節ごとの行事や誕生日会等を定期的に行い、非日常の体験や楽しみごとの提供も工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>開設以来、コロナウイルスの流行が続いており、病院受診等の緊急やむを得ない外出以外は行うことができなかった。終息となったら、ご家族のご協力をいただきながら、利用者様のご希望にそった外出支援ができるよう努めたい。</p>	<p>コロナ感染防止の為、家族との受診以外の外出は控えており、花見だけは車窓から楽しんだ。今後は、事業所内の行事を充実させる予定であり、近隣の散歩も個別対応を予定している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>コロナ禍により、ご利用様が直接買い物を行うことはできなかったが、預かり金として管理し、ご本人様の希望する買物等の支援を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人やご家族様が希望される場合は、携帯電話の使用や所持を支援している。また、ご本人の希望に応じて、電話をかけた手紙のやり取りの支援を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>台所には仕切りがなく、利用者様が自由に出入りできるよう配慮している。また、調理の音や匂いを感じながら、家庭的な雰囲気でも過ごすことができるよう支援している。清潔や室温・湿度にも気を付け、居心地よく過ごせる空間を作っている。季節に合わせた作品の掲示等も行っている。</p>	<p>広くゆったりしたフロアは日当たりが良く、大きな窓から十分な採光がある。コロナ感染防止の為、空気清浄機の使用や十分な換気を行い、各テーブルは間隔を開けて配置している。季節毎の作品や飾り付けをして、好みの場所でくつろげるような環境作りに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアでは自分の定位置があるが、空いた空間には誰でも座ることができるようにし、談笑できる居場所として利用できている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時にご家族の意向も確認しながら、ご利用者様の愛用品を持参いただいている。また、ご本人の要望に応じて、必要なものを職員が用意する等して、ご本人が居心地よく過ごせるように配慮している。冷暖房完備にて、ご本人の体感温度にも考慮している。</p>	<p>居室には洗面所があり、ベッド・タンス・エアコンが備えられ、寝具はリースである。本人が自宅等で使っていたテーブル・椅子・テレビ・ラジオ・仏壇・ハンガーラック等を持ち込んだり、写真等を飾る等、本人が安心して過ごせる部屋作りをしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ご利用者様が安全で自立した生活が送れるように、その時々状況の変化やご利用者様の状態に合わせて、臨機応変に対応しながら、職員で話し合い環境整備を行っている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない